

桜真

NO.47

2019(平成31)年2月22日発行
岩瀬日本大学高等学校
<http://www.tng.ac.jp/iwase/>
父母と教師の会
〒309-1453
茨城県桜川市友部1739
TEL 0296-75-2242
FAX 0296-75-4905



2学年

オーストラリア修学旅行



平成30年度

オーストラリア修学旅行

平成30年11月12日(月)～11月16日(金)



ケアンズ空港からジャブカイパークへ。ジャブカイパークでは朝食をとり、アボリジニ文化体験をしました



レインフォレストーションでは、ワニ肉などのパイキングで昼食をとり、スリル満点のアーミーダックに乗車しました



アサートン高原にて、ホストファミリーとの名残惜しいお別れです…

最終日、ケアンズ市内を班別で散策しました

一人ひとりの力が結集

NU祭入賞

国立2年6組 担任 菊池 直樹

平成30年11月24日(土)、東京都千代田区にある日本大学会館にてNU祭総合閉会式が開催され、国立2年6組が学校代表として参加しました。NU祭総合閉会式では、付属高校や日本大学各学部の代表が集い、各学科の文化祭を2分間の映像にまとめて発表し、出席者の投票で順位をつけるビデオ発表が行われました。

本校は桜瑛祭優勝クラスがNU祭総合閉会式に参加することができたため、クラスでは、桜瑛祭でのクラステーマ決めの段階から優勝を目指し、限られた時間の中で話し合いを重ねました。そして、NU祭「日本列島」島々【キャンペーン】をつなぐ「架け橋」と桜瑛祭「メモリー」仲間とともに思い出を刻もう「の2つのテーマから、「人々の記憶や思い出をつなぐ音楽」をテーマに掲げ、さまざまな視点から調査して展示物をまとめました。このようにやればよい

という定型のないゴールを目指して試行錯誤して作り上げた展示物は、各所に一人ひとりの頑張りやたくさんの方々のアイデアが表れており、生徒たちの努力が優勝という形になったときは格別の思いでした。

NU祭総合閉会式当日も、代表生徒が考えてきた思いを堂々と発表して入賞を勝ち取ることができ、生徒たちが持つ力は本当にすごいなと感じさせられました。これから3年生となり、受験という険しい道のりを歩み出していく生徒たちには、文化祭を通して学んだ達成する喜びを胸に、毎日を大切に、努力を重ね続けて欲しいと思います。

最後になりますますが、さまざまな面でご協力いただきました保護者の皆様へ、心より感謝申し上げます。



桜瑛祭記念講演会

「海外で働くという」と

初めての勤務先がグアテマラの市役所だった私がみたもの



11月21日(水)、講師に遠枝澄人氏をお迎えして、桜瑛祭記念講演会を実施しました。遠枝氏は、中米グアテマラの市役所で、廃棄物処理についての仕組みづくりと住民への環境教育に取り組んできました。このようなJICAでの貴重な経験を踏まえて、ご講演いただきました。

がとても心に残り、受験に通じると思った。●「思いつきで、かつちりと決めすぎず、行動してみる」という姿勢に驚き、感銘を受けた。●留学したいという希望が高まった。●人間関係や現地での仕事など大変なことも多いのに「答えを出す」ことを目指して仕事をしていた遠枝さんは、すごいと思う。●先生が日本に帰ってから住民の人がゴミ拾いを続けているのは、先生が頑張ったからだと思った。●「みんなと違うことはおかしいことだ」と思っていたが、先生の「違うからこそ面白い」という言葉が心に響きました。●社会人になっても頑張りたいと思った。●先生は、工夫を凝らしボランティアの参加人数を増やすことができてすごいと思った。●貴重な体験だった。●先生が持つてきてくださった民族衣装はとても装飾がきれいだった。●私の将来についての選択肢が増えた。●日本はとても平和で、わたしたちは幸せということを改めて確認した。

の言葉



1組のみんなへ

日大3年1組 岡田 桃果

長いようで短かった高校生活がもうすぐ終わってしまいます。高校生活の中で、1組のみんなとは2年間、同じクラスで過ごしました。
1組のみんなは、元気がよくて、にぎやかで、充実した高校生活を送ることができました。これからはそれぞれの夢に向かって頑張ります。



挑戦とありがとうの3年間

日大3年2組 山田 結唯

私の高校生活は、挑戦と感謝溢れる3年間でした。たくさん初めてのことに挑み、失敗も成功もしました。そのすべてには多くの人の支えがありました。協力してくれた友達、支えてくれた家族、色々なアドバイスをくれた先生方のおかげで私はここまで成長できました。ありがとうございます。



“ありがとう”

日大3年3組 海老澤佑真

高校3年間で振り返ってみると、楽しかった思い出が次から次へと浮かび上がってきます。仲間と共に過ごした日々は、私にとってかけがえのないものになりました。友達と多くを語り合い、笑い合った日々を忘れず、胸に刻んで次のステップに進みたいと思います。ありがとう。

旅立ち

私たちのクラス

日大3年4組 小林 優太



私たちのクラスは、黒澤先生が掲げた目標「一秒懸命」を常に意識し、2年間共に過ごしてきました。遊ぶときは遊び、学ぶときは学び、メリハリのあるクラスです。学校行事では皆で協力し合い、とても良い思い出を作ることができました。私は、この個性豊かなクラスを忘れることはないでしょう。

離れ離れになっても5組

総合3年5組 和田 優輝



3年5組は個性が強く、仲が良いクラス。たとえ人数が少なくても、一致団結すれば何倍もの力を発揮することができる。卒業しても心配はない。恐がることはない。だってそうでしょ。私たちはどこにいてもつながっているのだから。

3年間とこれから

国立3年6組 細島 瑠花



私たちは3年間、文化祭やサマースクールなど、共にたくさんのことを乗り越えてきました。時にうまくいかないこともありましたが、本当に多くのことを学びました。卒業式の後もまだ受験は続きます。3年間このクラスで学んだことを忘れずに、最後まで全力を尽くしていきます。

1年間を振り返って



父母と教師の会
会長 早瀬 純子

厳しい寒さも和らぎ始め、日に日に春めいてきた季節になりました。

保護者の皆様には日頃より「父母と教師の会」の活動にご理解・協力を頂き誠にありがとうございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、学習指導要領の改訂が2022年度より実施され、改訂の基本方針の中に、「教育基本法等が目指す普遍的な教育の根幹を踏まえ、グローバル化の進展や人口知能(AI)の飛躍的な進化など、社会の加速度的な変化を受け止め、将来の予測が難しい社会の中でも、伝統や文化に立脚した広い視野を持ち、志高く未来を創り出していくために必要な資質・能力を子供たち一人ひとりに確実に育むような学校教育」と示されています。日本大学の教育理念「自主創造」本校の重点目標にも今回の改訂の趣旨が重なります。まもなく卒業を迎える三年生は、先駆的な考えのもとにある、

1年間を振り返って

桜川支部
支部長 保科 晃克

本校の教育理念のもとで学んだことを自分の礎とし、これから迎える社会の変化の中で自立的に生きる力を育み、未来の造り手として、岩日生として誇りを持ち、自分の目標に向かい、それぞれの道を前進していくことを望みます。

また、在校生のみならず、世の中の変化が急激すぎて、将来の予測がつきにくい時代となっていく中で、自己実現のための目標を様々な角度から考え、目標設定をして、達成のための努力を惜しまず、充実した高校生活を過ごせることを望みます。

私たちは、みなさんの目標実現、活躍の一助となるよう活動を今後も続けていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

末尾に、岩瀬日本大学高等学校ならびに会員の皆様の益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

支部活動を通して

下館支部
支部長 木村 直美

子供達が入学して、あつという間に3年間が過ぎようとしています。先生方にお世話になりました。先生方も成長することが出来た3年間だと思います。

支部長という大役を引き受けてからのこの1年は特に早かったように思います。こんな私に何が出来るのだろうかという不安を抱えながらの1年でした。

支部活動の思い出としては、やはり桜瑛祭が大変でした。役員、会員の皆様の協力を得て無事に終えることが出来ました。子供達も最後の桜瑛祭だったので、一緒に楽しめたと思います。

先生方、保護者、子供達と一緒に頑張って作り上げた絆がそこにはあったことでしょうか。

役員会に出席させていただいた時には、子供達の様子などの話を聞かせていただき、先生方の熱心な気持ち伝わってくるのを感じました。そんな先生方へ子供を通して恩返しが出来ればと思います。

子供は巣立っていきますが、岩瀬日本大学高等学校に入学して本当に良かったと思います。先生方、実りある3年間でした。ありがとうございます。

支部活動を振り返って

県西支部
支部長 赤野間奈美子

子供の成長を少しでも見守ることができたらと思いい県西支部の役員になり、早いもので3年が経とうとしています。

支部長として不慣れな私を温かく励まし、協力していただいた支部役員と会員の皆様、そして先生方のお力添えに本当に感謝しております。

支部活動の中で最も思い出深いのは桜瑛祭です。県西支部では毎年焼きそばを焼いて販売しています。今年も1050食を完売しました。大きな鉄板から立ち込める音と香り、生徒たちに負けない父母の団結力と明るさは、桜瑛祭の盛り上がりにも少ななりとも貢献できたのではないかと考えております。

また、8月末に開催した地区懇談会では、先生方を含め51名の参加をいただきました。学校生活、部活動や進路相談等熱心な話し合いが行われ、このような保護者の交流はとて有意義で貴重な時間であると思っております。

最後に、会員の皆様ならびに岩瀬日大高校の益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

支部活動を振り返って

ときわ支部
支部長 佐藤 正人

県北から県南まで、ほぼ常磐線沿線の広いエリアから構成されるときわ支部。私も岩瀬日大高校の右も左も分らない中、先輩役員の方よりお誘い頂いて、父母と教師の会での活動に参加させて頂きました。本年度は、支部長の任を仰せつかり、校長先生始め、支部担当の先生方にご協力頂き無事活動を終えることが出来ました。

ときわ支部の活動で、最も印象に残るのは、桜球祭での焼き鳥販売です。役員の方々と計画から準備や買い出しを行いました。また、当日は早朝の仕込みから始まり、役員以外の支部会員保護者のご協力もいただき、2日間で4200本の販売を成功する事ができました。楽しく活動し多くの方に喜んでもらえる機会をいただいたことに感謝しております。

残りの期間で、次年度以降の、ときわ支部活動が盛大に開催できるように、役員の方々、担当の先生方と協力し引き継いで行きたいと思えます。

最後に、会員の皆様ならびに岩瀬日大高校の益々のご活躍を、ご祈念申し上げます。

支部活動を振り返って

北つくば支部
支部長 磯田貴美江

息子の入学と共に、北つくば支部役員としての活動が始まりました。あつという間の3年間でした。特に支部長という大役を仰せ

つかつてからのこの1年間は、いつも不安と緊張の連続ではありましたが、諸先生方のお力添えや、支部の会員・役員の皆様のご支援ご協力により、活動を遂行できましたことを、大変感謝しております。

支部活動として、もっとも思い出深いのは、やはり桜球祭でしょう。模範店を成功させようと、役員一丸となって準備から販売に至るまで、様々な意見を出し合いながら協力し、やりとげられたことは、充実感や達成感を味わうことができ、貴重な体験となりました。

昨年保護者同士の交流はこの様な機会がなければ、地域や学年を越えた交流をもつことは難しいと思えますが、活動の合間に学校のことや進路についての情報交換ができたことは、有意義な時間だったと思えます。

貴重な経験をさせて頂きましたことを感謝いたします。ありがとうございました。

支部活動を振り返って

栃木支部
支部長 築 美智子

栃木支部の会員数は1000名を超えており、その中で各学年8名ずつが役員となり支部会を運営しています。

栃木支部の最大の特徴は、年3回の懇親会です。多数の会員の参加と共に、先生方にも参加していただき、我が子の学校での様子や気になる進路について具体的に伺うことができたり、先輩会員からの多くの体験談も大変参考になります。そのおかげで、子どもたちを安心して学校へ通わせることができ、それが希望する進路決定につながったと思えます。

今後も、ご協力いただいた先生方や会員の皆様、子どもたちがさらに発展していくとともに、会員の皆様のご支援に、改めて感謝申し上げます。

特に、率先して活動して下さった3年生の役員の皆様のおかげで、最後の1年は、より楽しく充実した支部活動となり、改めて、役員になったことで出会えた縁に感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

成人教育研修会報告

成人教育委員長 柳 和彦

平成30年12月1日。保護者39名、齊藤校長先生、担当の先生方のご参加をいただき、日本大学経済学部の見学と明治座観劇、東京ミッドタウン日比谷散策の行程で成人教育研修会を実施しました。はじめに経済学部では、村上教授による学部や学科についての説明をいただき、「ニチケイ」は特に政治とビジネス、金融の中心に近くダイナミックな動きを肌で学べる環境が整っている、という点がとても印象的でした。次に昨年完成した3号館の見学では、メ

ディアラームとラーニングコモンズの多目的スペースの利用方法、多くの蔵書があることや貸し出しパソコンについてご案内いただきました。

その後、明治座へ移動して、ベストセラーとなった話題の「九十歳。何がめでたい」の朗読劇を三田佳子さんが見事に演じられ、現在の世相を皮肉った内容は何かを考えさせられるものでした。

最後の行程となった日比谷では自由散策としました。小春日和の中、2時間ゆつくりと買い物やカフェでくつろいだり楽しい時間を過ごすことができました。

今回の研修会を通じて、保護者や先生との交流を深めることができました。私自身、初めての研修会となりましたが、都市型キャンパスを見学できたことは、貴重な経験となりました。今後も参加してよかったですと思っただけのような研修会を企画いたします。次回、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



部活動大会結果（7月～12月）

	種別・出場者
卓球部	平成30年度 全国高等学校卓球選手権大会 8/3 ~ 8/8 愛知県 スカイホール豊田 【男子団体】出場 篠部 亮(日大2-4) 菊地勇伊(総合3-5) 星野峻佑(日大2-2) 小山嵐士(日大2-2) 川内谷風美(日大2-2) 染谷悠寿(日総1-3) 鈴木皓貴(日大2-3) 【男子ダブルス】出場 川内谷風美(日大2-2) 星野峻佑(日大2-2) 須田陽太(日大3-1) 小山嵐士(日大2-2) 【男子シングルス】出場 川内谷風美(日大2-2)
	平成30年度 国民体育大会卓球競技関東ブロック 8/17 ~ 8/19 日立市 さくらアリーナ 【少年男子の部・茨城県代表】 第8位 川内谷風美(日大2-2)
	平成30年度 全日本卓球選手権大会県予選会 兼茨城県卓球選手権大会 9/16 ~ 9/17 筑西市 下館総合体育館 【男子シングルス】 第2位 星野峻佑(日大2-2) 第6位 川内谷風美(日大2-2) 第7位 鈴木皓貴(日大2-3) ※以上3名, 代表権獲得 【男子ダブルス】 第2位 篠部 亮(日大2-4) 鈴木皓貴(日大2-3) 第4位 川内谷風美(日大2-2) 小山嵐士(日大2-2)
	平成30年度 茨城県新人卓球大会(団体の部) 11/11 ~ 11/13 筑西市 下館総合体育館 【男子団体】第1位 篠部 亮(日大2-4) 諏訪歩貴(日総1-4) 星野峻佑(日大2-2) 小山嵐士(日大2-2) 川内谷風美(日大2-2) 染谷悠寿(日総1-3) 鈴木皓貴(日大2-3) 西村奏輝(日総1-2) ※以上, 関東選抜卓球大会出場権獲得 【女子団体】第3位 伊藤千彩(日大2-1) 黒川玲衣(日総1-4) 根本愛衣(日総1-2) 田中来実(日総1-1) 前野佳那子(日総1-1) ※以上, 関東新人卓球大会出場権獲得
	平成30年度 茨城県西部地区高校卓球新人大会 【女子団体】優勝 伊藤千彩(日大2-1) 黒川玲衣(日総1-4) 田中来実(日総1-1) 前野佳那子(日総1-1) 【女子ダブルス】優勝 伊藤千彩(日大2-1) 前野佳那子(日総1-1) 【女子シングルス】 優勝 前野佳那子(日総1-1) 準優勝 伊藤千彩(日大2-1)
ソフトテニス部	平成30年度 茨城県高等学校ソフトテニス新人大会 11/2 ~ 11/4 磯原地区公園 テニスコート 【男子団体】第3位 上村 怜(総合2-5) 齊藤雄大(日大2-2) 吉田将真(総合2-5) 武田幸樹(総合2-5) 田谷悠汰(日総1-3) 高岡優希(日総1-3) 伊藤拓海(日総1-1) 山野遵利(日総1-2) ※以上, 関東高等学校団体選抜ソフトテニス大会 茨城県予選会出場権獲得 【男子個人】 ベスト8 上村 怜(総合2-5) 齊藤雄大(日大2-2) ベスト16 武田幸樹(総合2-5) 高岡優希(日総1-3)

	種別・出場者
ソフトテニス部	平成30年度 茨城県高等学校ソフトテニス新人大会 11/2 ~ 11/4 磯原地区公園 テニスコート 【女子団体】出場 飯野菜摘(総合2-5) 佐口蘭夢(日総1-4) 赤荻晴香(総合2-5) 長澤果那(日総1-1) 鈴木あづさ(日大2-1) 増田奈夏(日総1-1) 【女子個人】出場 飯野菜摘(総合2-5) 佐口蘭夢(日総1-4) 赤荻晴香(総合2-5) 長澤果那(日総1-1)
	平成30年度 茨城県高等学校ソフトテニス インドア大会 12/23 池の川さくらアリーナ 【男子団体】第3位 上村 怜(総合2-5) 齊藤雄大(日大2-2) 吉田将真(総合2-5) 武田幸樹(総合2-5) 田谷悠汰(日総1-3) 高岡優希(日総1-3) 飯島哲平(総合2-5) 伊藤拓海(日総1-1)
剣道部	第73回 国民体育大会関東ブロック予選大会 8/26 筑西市 下館総合体育館 【少年女子の部】優勝 駒田奈都(総合3-5) ※中堅として出場
	第73回国民体育大会 9/30 ~ 10/1 福井県福井市 福井県立武道館 【少年女子の部】出場 駒田奈都(総合3-5) ※中堅として出場
	第51回茨城県高等学校剣道勝ち抜き大会 11/10 笠間市市民体育館 【男子団体】ベスト8 大谷優斗(総合2-5) 小川倫汰郎(総合2-5) 小木曾太陽(日大2-1) 平林亮太郎(日総1-3) 木村公大(日総1-4) 小竹一輝(日総1-4) 初見遥太(日総1-4)
バドミントン部	第51回茨城県高等学校剣道勝ち抜き大会 11/13 笠間市市民体育館 【女子団体】ベスト8 神郡麻里(日総1-3) 江田彩花(日総1-2) 菅原梨乃(日総1-2) 鬼島ななこ(日総1-3) 齋藤夢叶(日総1-1)
	平成30年度 茨城県新人バドミントン大会 11/9 常陸大宮市 西部運動公園体育館 【男子団体】出場 竹内元春(日大2-4) 水野開斗(日大2-4) 石島壱晟(日大2-4) 鈴木海翔(日大2-1) 浅香理智(日大2-4) 藤原英奎(日大2-1) 鈴木 亨(日総1-3) 瀬尾匠史(国特1-5)
ライフル射撃部	平成30年度 茨城県新人バドミントン大会 11/1 土浦市 霞ヶ浦文化体育館 【男子ダブルス】出場 石島壱晟(日大2-4)・鈴木 亨(日総1-3) 【女子ダブルス】出場 塚田成美(総合2-5) 富田咲良(日大2-2)
	第56回全国高等学校ライフル射撃選手権大会 8/1 ~ 8/4 広島県つづがライフル射撃場 【エアライフル女子】55位 海老澤美沙(日大3-2)
新聞部	国民体育大会関東ブロック大会ライフル射撃競技会 8/24 ~ 8/26 茨城県営射撃場 【エアライフル女子個人】出場 海老澤美沙(日大3-2)
	平成30年度 茨城県高等学校ライフル射撃競技新人大会 11/7 茨城県営射撃場 【チームライフル女子個人】8位 川野邊了己(日総1-1)
文芸部	第10回茨城県高等学校新聞コンクール 最優秀賞 第43回全国高等学校総合文化祭(2019さが総文) 出場決定(7月29日~31日)
	平成30年度 茨城県高等学校文芸部第2回中央大会 【詩部門】最優秀賞 / 【短歌部門】佳作 日本大学付属高等学校等第36回文芸コンクール 【詩】特選 / 【読書感想文】入選 / 【特別賞】 茨城県高等学校文化連盟賞(以上を個人受賞) 粟野里咲(日大3-2)

1 国公立大学 合格者数 1名

学部名	合格数
茨城大学	1名

平成30年度3年生合格先区分別概況

*合格数は平成31年1月10日までの結果です。

2 日本大学 合格者数 104名

学部名	合格数
法学部	19名
文理学部	10名
経済学部	4名

学部名	合格数
商学部	11名
国際関係学部	5名
危機管理学部	3名

学部名	合格数
理工学部	13名
生産工学部	13名
工学部	11名

学部名	合格数
生物資源科学部	12名
短期大学部	2名
医学部付属看護専門学校	1名

3 私立大学 合格者数 28名

学部名	合格数
青山学院大学	1名
茨城キリスト教大学	1名
宇都宮共和大学	1名
川口短期大学	1名
国際医療福祉大学	2名
埼玉学園大学	1名

学部名	合格数
城西国際大学	1名
千葉商科大学	1名
中央学院大学	1名
つくば国際大学	3名
帝京平成大学	1名

学部名	合格数
東京聖栄大学	1名
常磐大学	4名
二松學舎大学	1名
日本薬科大学	1名
白鷗大学	1名

学部名	合格数
文教大学	1名
明海大学	1名
目白大学	1名
立正大学	2名
流通経済大学	1名

4 私立短期大学 合格者数 5名

学部名	合格数
関東職業能力開発大学校	1名

学部名	合格数
埼玉東萌短期大学	1名

学部名	合格数
佐野日本大学短期大学	2名

学部名	合格数
常磐短期大学	1名

5 専門学校等 合格者数 19名

学部名	合格数
宇都宮アート&スポーツ専門学校	1名
大原スポーツ公務員専門学校	1名
大宮ビューティーアート専門学校	1名
晃陽看護栄養専門学校	2名
国際テクニカルデザイン自動車専門学校	1名

学部名	合格数
つくばビジネスカレッジ専門学校	1名
TBC学院 国際テクニカル美容専門学校	1名
東京スクールオブミュージック専門学校	1名
東京スポーツ・レクリエーション専門学校	1名
東京デザイン専門学校	1名

学部名	合格数
日本外国語専門学校	1名
日本工学院専門学校	1名
日本美容専門学校	1名
ハリウッド美容専門学校	1名
ベルエポック美容専門学校	1名

学部名	合格数
山野美容専門学校	1名
日産栃木自動車大学校	1名
日本航空大学校	1名

6 就職 合格者数 1名

就職先名	合格数
自衛隊	1名

陸上部、創部以来の初合宿

陸上部顧問 原田 航

わたしが陸上競技をしていたのは中学、高校時代。教員になつてから陸上競技部の顧問を務めたのも、今から8年も前のことになる。陸上部の顧問に就任した際に感じたことは「今の陸上指導の最前線が何もわからない。」ということだった。

そういった背景から、高校時代の恩師を頼ると、年末の静岡で行われる合宿に参加させていただけることになった。

12月27日の午後、静岡県静岡市清水区にて、全7高校が集まり、冬季合宿が始まった。本校陸上部としては初の合宿で、1年生5名が参加した。

1年生ばかりの本校生徒は、合宿の練習メニューについていくだけでも精いっぱいだった。しかし、他校の生徒は練習メニューに食欲に取り組み方や、練習間の時間を気にした行動、礼儀正しい態度など、東海大会レベルの選手たちの練習風景や立ち居振る舞いを見て、とても刺激を受けていた。

毎食後のミーティングでは、練習メニューの振り返りや自分

の課題、チームの課題などを具体的に話す生徒の姿を見て、改めて陸上部を強くしたいという思いを抱いた。

この合宿には、中部地方の強化担当の先生や、元日本記録保持者、日本代表選手などそうそうたるメンバーが指導に当たってくださっており、生徒はもちろん私自身も指導者として多くのものを持ち帰ることができた。東海大会レベルの選手たちの中、自分との実力差をまざまざと感じた本校の部員たちは、それでもひたむきに練習に取り組んでいた。茨城に戻ってから一生涯懸命に部活動に取り組んでいる。数か月後、数年後、部員たちが陸上部を引退したときに、3年間頑張ってきたよかつたと思つて終えられるように、今後も指導に取り組んでいきたい。



活躍する卒業生

今年度、母校の教壇に立っていらっしゃる中林先生に、高校時代を振り返っていただくとともに、後輩である生徒の皆さんにメッセージをいただきました。

「願いは叶う」

私の高校の1番の思い出は“何気ない日常”です。

毎日スクールバスで家と学校の往復。学校に着けば友達との何気ない会話から始まり、お昼には放課後の分までパンを買い込んで(笑)。3年生になってからは毎日夜8時過ぎまで学校に残って勉強をしていたのをよく覚えています。

進路はとても悩みました。その時に相談にのってくれ、支えてくれたのは岩日の先生方でした。そんな先生方の姿を見て、『わたしも生徒を支えられる教師になりたい』と思うようになり、大学では教育課程を追加で履修しました。

大学は希望通りにいかなかったものの、今となってはそんな高校時代が私を大きく成長させてくれたと思っています。皆さんも、もし物事が思い通りにいなくても、自分が決めたことを信じて最後までやり抜いてください。きっと願いは叶うはずです。

な かの ばやし な ほ こ
■中林 奈穂子

昭和62年 茨城県桜川市生まれ
平成15年 桜川市立桃山中学校卒業
平成18年 岩瀬日本大学高等学校卒業
平成22年 淑徳大学国際コミュニケーション学部卒業

趣味：ゴルフ、バレーボール



教員になってはじめての教え子の卒業式にて

TOPICS

◇7月16日～7月29日、ハワイ英語研修を実施しました。



◇7月18日～8月4日、ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ「付属高校生のサマー・プログラム」に国立2年6組大谷吉優翔さんと日大2年3組大谷海夢さんが参加しました。



◇10月26日、スポーツフェスティバルが行われ、バレーボールほか6競技が行われました。



◇11月11日、第6回岐阜女子大伝統文化裁縫コンテストで最優秀賞を受賞した国立3年6組野村翼さんが表彰を受けました。



◇11月24日、しもだて商工まつりで、チアリーダーイング部と吹奏楽部と軽音楽愛好会が参加しました。



私の高校時代 ⑬

校長 齊藤 克朗 先生



高校時代を振り返るには少し時が立ち過ぎているが、微かな記憶を辿って記することとする。

私が多感な青春期を過ごしたのが岩瀬日大高校の前身である土浦日大高校である。創立してまだ8年目、学校の行く末も定まっておらず、まして今日の土浦日本大学学園の隆盛など予想も付かない頃でした。

進学は県立高へと決めていたが、剣道部の先生からの誘いもあって入学を決めた。部活動で進路を決めるなど当時

は考えられない時代で、家族も大反対であった。迷った末の決定は叔父の一言、「運動での進学は冒険だが、土浦日大高は、数年後には土浦で1・2を争う学校になる。」という言葉であった。

入学と同時に剣道部に入部し、文武両道を実践しようと考えていたが、現実はそのとはほど遠いもので、剣道技術が同級生に

も及んでいない私にとっては過酷な日々であった。練習の外にも雑用があり、あまりの辛さから同級生と言いが合いになったり、時には殴り合いになることもあった。しかし、苦楽をともにするということは素晴らしいことで、今でも「仲間」という太い絆で結ばれている。

1年次の一日は、朝の5時台の始発バスで登校し朝稽古、昼休みは先生との個別稽古、放課後は通常稽古、その前後は準備と後片付け、帰宅するのは毎夜9時過ぎで、教

室での授業時間が緊張から解き放たれる唯一の時間であった。休日も無く辛そうな姿を見かねた母が何度も「退部届」を書いてくれたが、最後まで辛抱できたのは、反対を押し切った進学した意地だったように思える。

2年生になり少しは高校生活をエンジョイできるかと思っていたが、剣道部の先輩が大学を卒業し顧問に就任したことから合宿所が設けられ、私も最上級生として入寮することとなり、自炊も加わってさらに剣道づけの毎日になった。

3年生になって「修学旅行に行きたい。」と先生に直訴したことがある。素っ気なく「試合に勝って、修学旅行以上の経験をしろ！」と一蹴された。高校最後の大会で県と関東を勝ち抜いて「鹿兒島国体」に出場することができた。この時は、3年間の辛抱へのご褒美であると感じられ、今では最高の思い出となっている。

恩師との出会いから始まった高校生活、運動部ならではの理不尽なことも多々あったが、「挑戦すること」や「我慢や辛抱」、それに「協同」の重

◇11月23日、第7回土浦日本大学学園桜輪ピックでサッカー部が初優勝しました。



要性を何よりも学ばせてもらった時間であり、大学以降の人生で、この礎がどれだけ活用されてきたかを痛烈に感じている昨今である。

■プロフィール

- 誕生日：昭和29年8月8日
- 出身地：かすみがうら市
- 出身校：土浦日本大学高等学校
- 最終学歴：日本大学文理学部
- 好きな言葉：「初心、忘るべからず！」
- 趣味(特技)：剣道



◇1月11日、日大・総進1年2組山野遵利さんが高齢者を保護し、1月29日下妻警察署長より感謝状を贈呈されました。



山野さんは部活動の帰り、信号機のない車道を横断するなどした高齢男性の危険を回避しようとして声をかけ、両親を介して警察署に保護したところ、同日家族から行方不明届けが出されていたことが判明したとのこと。山野さんの一歩踏み込んだ行動力が人命を救助することになりました。

蓼科宿泊学習

1 学年
平成30年10月



サンデンの非常時ライフライン対応自動販売機を操作してみました



下仁田町こんにやく手作り体験道場にて



富岡製糸場首長ブリュナ氏の出身市市長(赤いワンピースの女性)が視察で来日中、日本の学生との記念撮影を頼まれての1枚



霧ヶ峰自然保護センターにて



車山高原をハイキング



車山山頂にて



天候に恵まれて眺望を楽しみました



体験学習館ルミエールそば道場にて



そば打ち体験



打ちたてのそばが茹であがりました



3月になると3年生が卒業を迎えます。岩瀬日大で学んだこと、仲間や先生方と共に苦難を乗り越えたことを糧に、一人ひとり、それぞれの素敵な物語を作っていきましょう。少し早いです。御卒業おめでとうございませう。

発行にあたり、ご寄稿いただきました皆様にはご協力深く感謝致します。

広報委員長 美濃部法子
(栃木支部)



編集後記



「桜真」47号をお届けします。たくさんさんの白樺に囲まれ、10月に行われた蓼科宿泊学習。1年生は入学して半年以上が経ち高校生活にも慣れた頃だったかと思えます。様々な体験学習、共同生活を通して友達との仲もさらに深まったことでしょう。11月のオーストラリア修学旅行は、ケアンズで2つの世界遺産に触れました。先住民のアボリジニとの交流では、伝統楽器であるディジュリドゥの心地よい低音の響きに魅了されたのではないのでしょうか。1月、オーストラリアでの美しい景色や楽しい思い出は一端終い、2年生にはいよいよ受験が迫ってきました。